

アンケート調査結果

いつも-itsumo-編集部

当記事ではお金を借りる方法を詳しく調査するため、様々な方法でお金を借りたことのある方を対象にアンケートを実施いたしました。

消費者金融や銀行系カードローンなどいくつかお金を借りる方法がありますが、実際どれを選んだら良いかわからない方も多いと思います。

お金を借りるには自分に合った金融機関での借り入れ方法を選ぶのがおすすめです。

「お金が必要だけどどこでお金を借りたらいいかわからない...」と悩んでいる方は是非参考にしてください。

目次

アンケート調査概要.....	2
Q1.主な借入金額はいくらですか？.....	3
Q2.現在の年収はどれくらいですか？.....	5
Q3.借り入れているお金の使用目的は何ですか？.....	7
Q4.お金を借り入れる際に重視したことはなんですか？.....	8
Q5.各借入方法を選んだ理由は何ですか？.....	9

アンケート調査概要

お金を借りた経験のある方の実態や傾向を調査するため、金融機関から借り入れ経験がある方、合計432名を対象にアンケート調査を行いました。

目的	お金を借りる方法の実態調査
調査期間	2024年3月7日～2024年3月11日
調査対象者	金融機関から借り入れ経験がある方（合計：423名） ＜詳細＞ ・消費者金融で借り入れ経験がある方（100名） ・銀行カードローンで借り入れ経験がある方（100名） ・クレジットのキャッシングで借り入れ経験がある方（100名） ・国の制度で借り入れ経験がある方（54名） ・住宅/ビジネスローンで借り入れ経験がある方（69名）
調査項目	全6問×6件 借り入れ方法ごとに調査対象者を絞って実施 質問項目は同一
調査会社	ランサーズ株式会社
調査方法	Webアンケート

借り入れ方法別の傾向も調査するため、432名中以下のような内訳で同一の質問に回答していただきました。

借り入れ方法別調査対象者	
消費者金融	100名
銀行カードローン	100名
クレジットのキャッシング	100名
国の制度	54名
住宅/ビジネスローン	69名

上記調査にて数値化した内容を分析し、当記事の内容を根拠づけております。

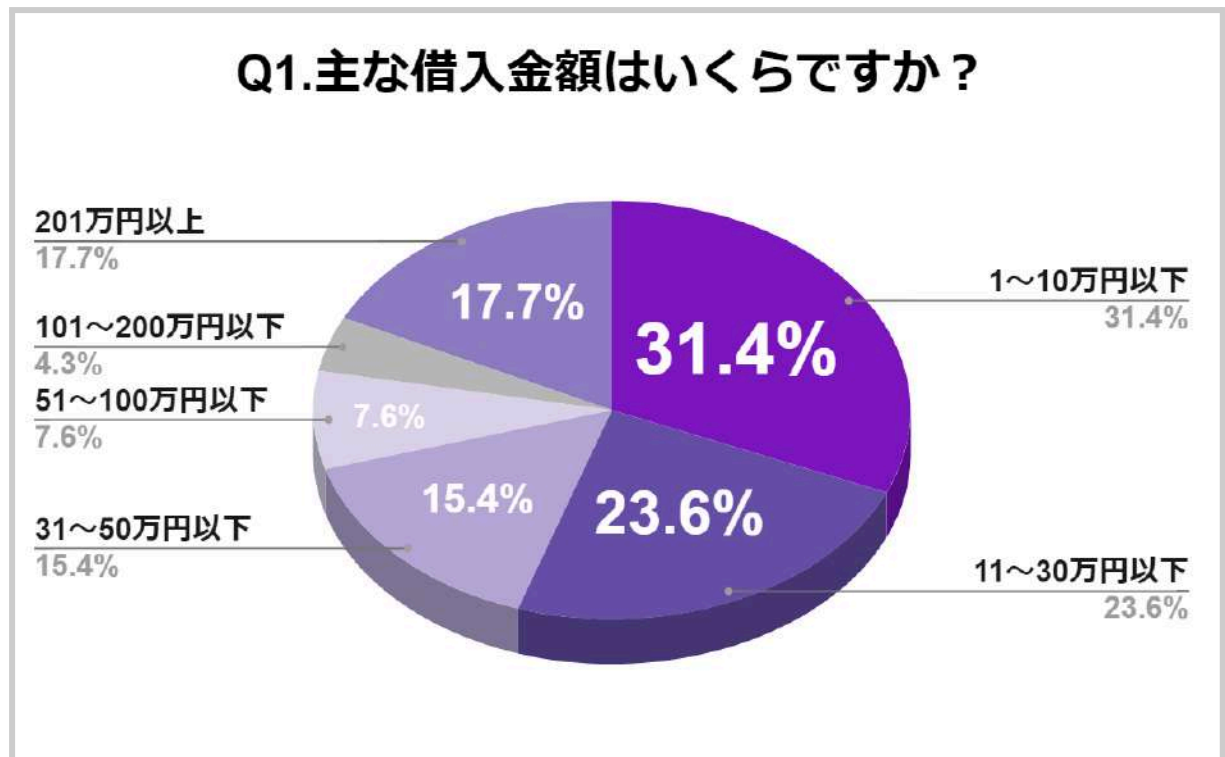
自身の経済状況や借り入れたい金額によっておすすめの借入先は異なるため、是非参考にしてください。

以下よりアンケート結果を質問項目ごとに詳しく紹介していきます。

Q1.主な借入金額はいくらですか？

金融機関でお金を借り入れたことがある方に、どれくらいの金額を借り入れたのかを回答していただきました。

全体の結果は以下の通りです。



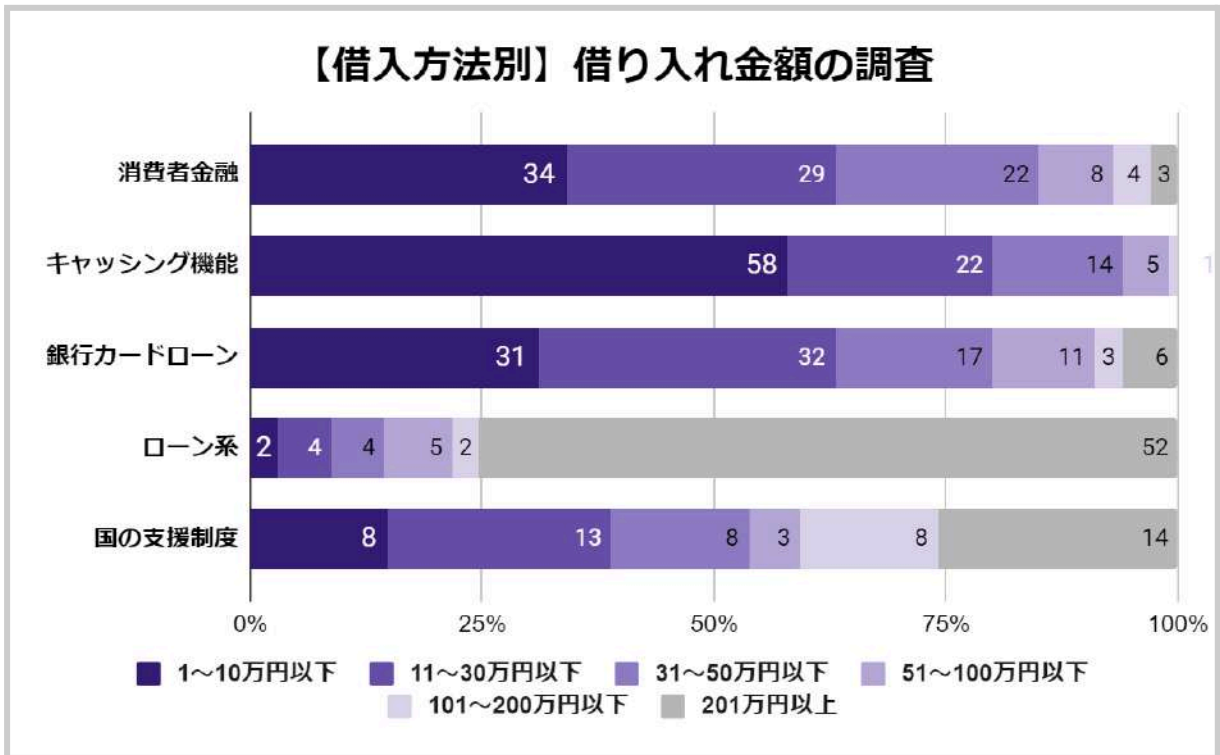
Q1.主な借入金額はいくらですか？（423回答）	
1～10万円以下	133人（31.4%）
11～30万円以下	100人（23.6%）
31～50万円以下	65人（15.4%）
51～100万円以下	32人（7.6%）
101～200万円以下	18人（4.3%）
201万円以上	75人（17.7%）

1～10万円以下が31.4%と最も多い結果となりました。

次いで11～30万円以下が23.6%と、全体で30万円以下の少額融資を行った方が半数以上であることが分かりました。

お金を借りるといって高額な金額をイメージする方も多いかもしれませんが、実際は50万円以下の借入れを行った方が70%以上でした。

また借り入れ金額に関して、借入方法別の結果は以下の通りです。



【借り入れ方法別】 Q1.主な借入金額はいくらですか？（423回答）					
	消費者金融	キャッシング機能	銀行カードローン	ローン系	国の支援制度
1～10万円以下	34人	58人	31人	2人	8人
11～30万円以下	29人	22人	32人	4人	13人
31～50万円以下	22人	14人	17人	4人	8人
51～100万円以下	8人	5人	11人	5人	3人
101～200万円以下	4人	1人	3人	2人	8人
201万円以上	3人	0人	6人	52人	14人

借り入れ方法別にアンケートを分析してみると、50万円以下の借入を行った方は消費者金融・キャッシング機能・銀行カードローンを主に利用しています。

対して、200万円以上の高額融資を受けた方は、住宅/ビジネスローンや国の支援制度を多く利用していました。

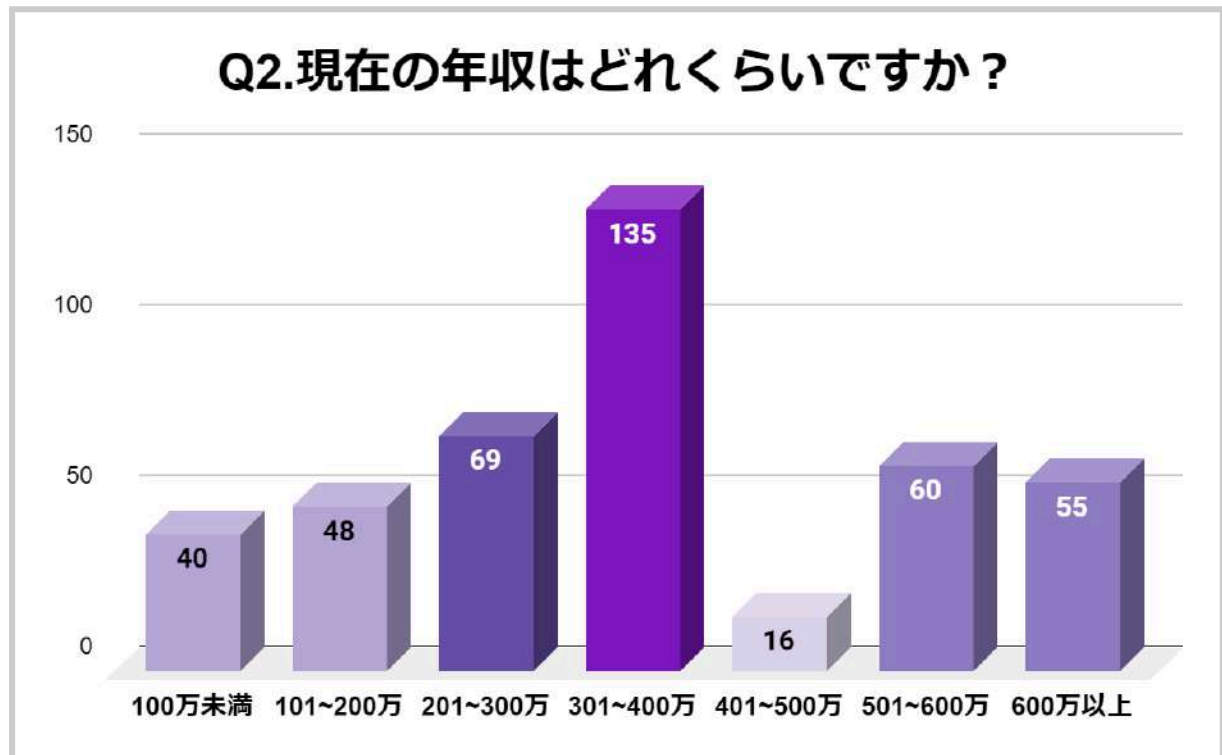
この結果から、50万円以下の少額融資を希望する方は「消費者金融」「銀行カードローン」「クレジットのキャッシング機能」を利用するのがおすすめです。

200万円以上のまとまったお金が必要な方は「住宅/ビジネスローン」「国の支援制度」を利用するのがおすすめです。

Q2.現在の年収はどれくらいですか？

借入経験のある方に現在の年収に関して回答していただきました。

全体の結果は以下ようになりました。

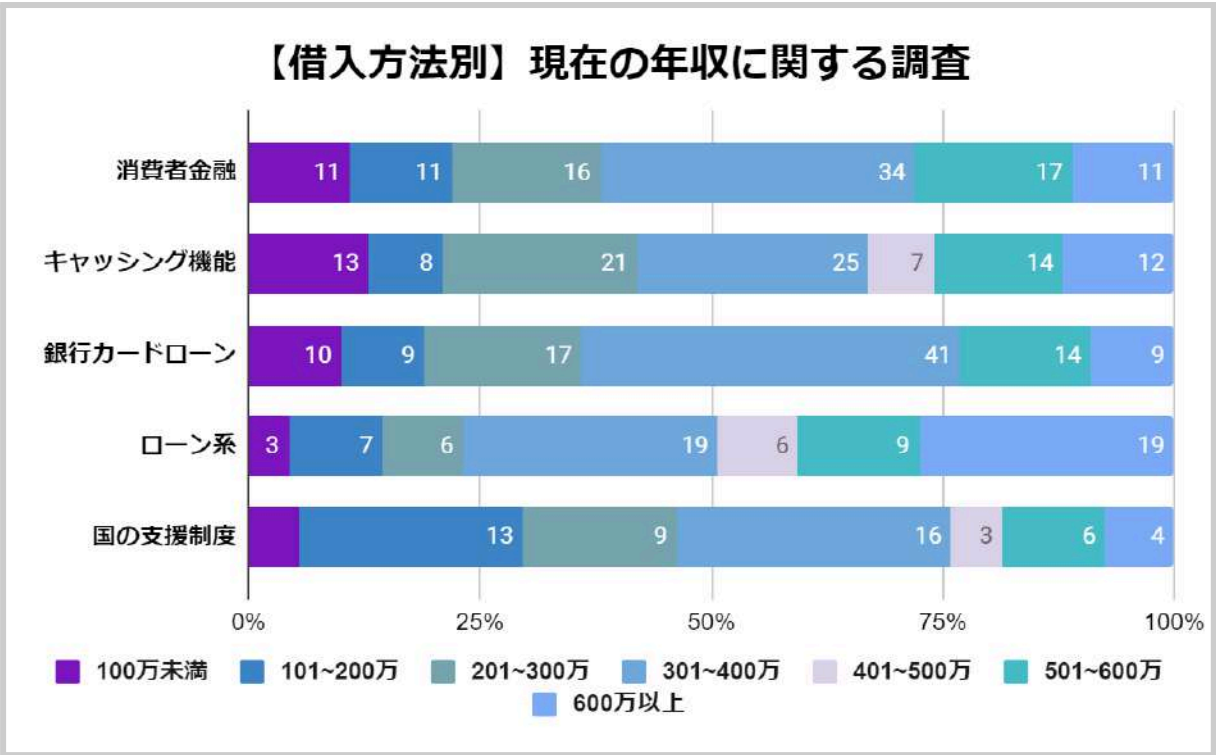


Q2.現在の年収はどれくらいですか？（423回答）	
100万円未満	40人（9.5%）
101～200万円	48人（11.3%）
201～300万円	69人（16.3%）
301～400万円	135人（31.9%）
401～500万円	16人（3.8%）
501～600万円	60人（14.2%）
600万円以上	55人（13.0%）

特に300～400万円程度の年収で借入を行った方が多いという結果となりました。

ですが借入れ経験者に大きな年収の偏りはなく、100万円未満の人から600万円以上の人まで幅広い経済状況であることが分かります。

借入方法別の年収調査結果は以下の通りです。



【借り入れ方法別】Q2.現在の年収はどれくらいですか？（423回答）					
	消費者金融	キャッシング機能	銀行カードローン	ローン系	国の支援制度
100万円	11人	13人	10人	3人	3人
101～200万円	11人	8人	9人	7人	13人
201～300万円	16人	21人	17人	6人	9人
301～400万円	34人	25人	41人	19人	16人
401～500万円	0人	7人	0人	6人	3人
501～600万円	17人	14人	14人	9人	6人
600万円以上	11人	12人	9人	19人	4人

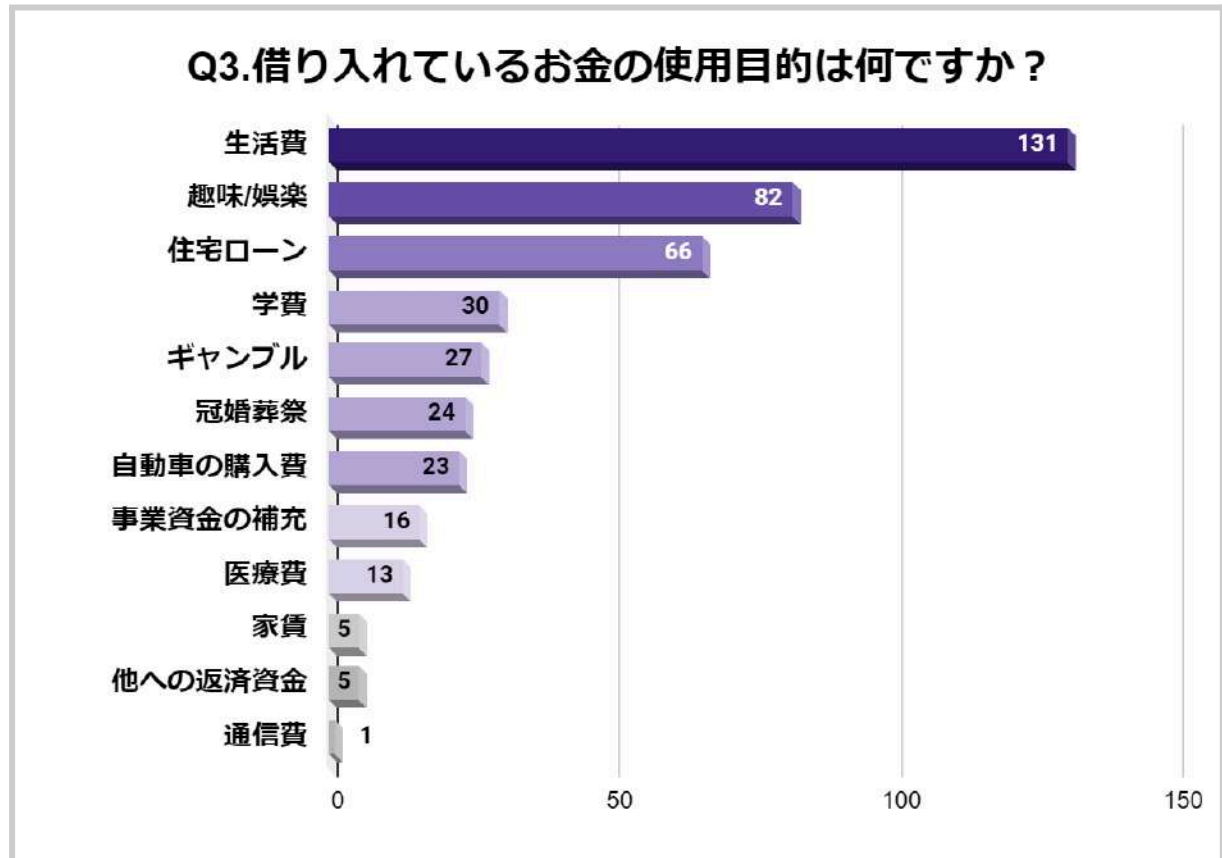
借り入れ方法別に現在の年収に関して分析した結果、年収別で借入方法に大きな差は見られませんでした。

年収だけではなく、他社からの借り入れ状況や信用調査の結果などを踏まえて審査は行われます。

そのため自分の経済状況に不安がある方でも、十分融資を受けられる可能性があります。

Q3.借り入れているお金の使用目的は何ですか？

金融機関でお金を借り入れている方に、借り入れたお金の使用目的について回答していただきました。



Q3.借り入れているお金の使用目的は何ですか？（423回答）

生活費	131人（30.9%）
趣味/娯楽	82人（19.3%）
住宅ローン	66人（15.6%）
学費	30人（7.0%）
ギャンブル	27人（6.3%）
冠婚葬祭	24人（5.6%）
自動車の購入費	23人（5.4%）
事業資金の補充	16人（3.7%）
医療費	13人（3.0%）
家賃	5人（1.1%）

他への返済資金	5人（1.1%）
通信費	1人（0.2%）

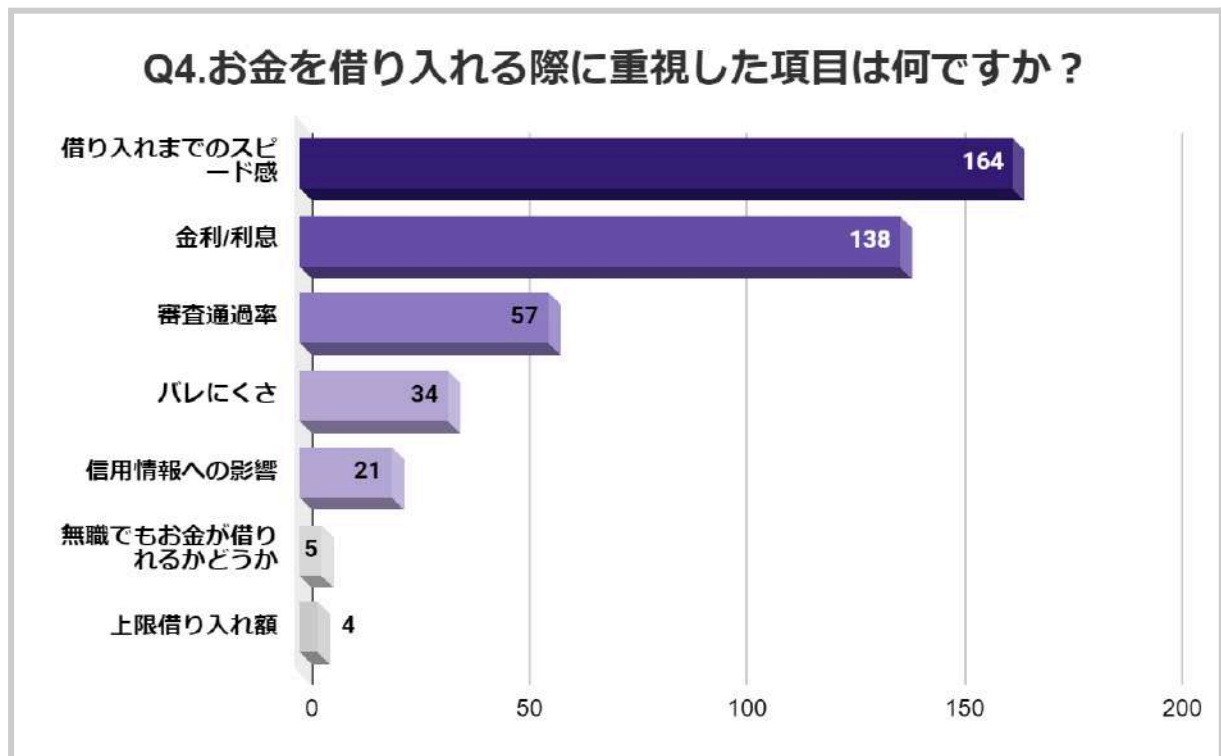
借り入れているお金の使用目的に関してアンケートをおこなった結果、生活費に使用している方が多いことがわかりました。

基本的に、借り入れたお金の使用用途は自由です。

そのため自分の年収や金融情報の状態に合わせて、借入を行う金融機関を選ぶことがおすすめです。

Q4.お金を借り入れる際に重視したことはなんですか？

金融機関でお金を借り入れている方に、借り入れの際に重視した項目について回答していただきました。

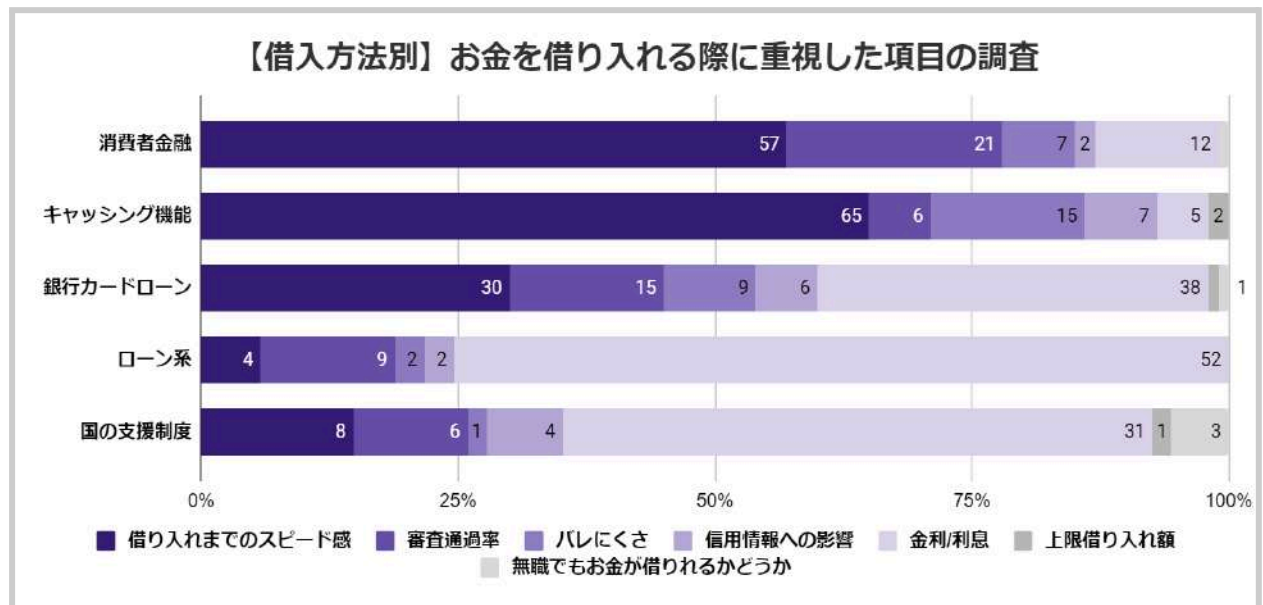


Q4.お金を借り入れる際に重視したことはなんですか？（423回答）	
借り入れまでのスピード感	164人（38.7%）
金利/利息	138人（32.6%）
審査通過率	57人（13.4%）

バレにくさ	34人（8.0%）
信用情報への影響	21人（4.9%）
無職でもお金が借りれるかどうか	5人（1.1%）
上限借り入れ額	4人（0.9%）

借り入れまでのスピード感や金利/利息を重視する方が多いという結果になりました。

借入方法別の重視する項目は以下の通りです。



【借り入れ方法別】Q4.お金を借り入れる際に重視したことはなんですか？（423回答）					
	消費者金融	キャッシング機能	銀行カードローン	ローン系	国の支援制度
借り入れまでのスピード感	57人	65人	30人	4人	8人
審査通過率	21人	6人	15人	9人	6人
バレにくさ	7人	15人	9人	2人	1人
信用情報への影響	2人	7人	6人	2人	4人
金利/利息	12人	5人	38人	52人	31人
上限借入額	0人	2人	1人	0人	1人
無職でもお金が借りられるか	1人	0人	1人	0人	3人

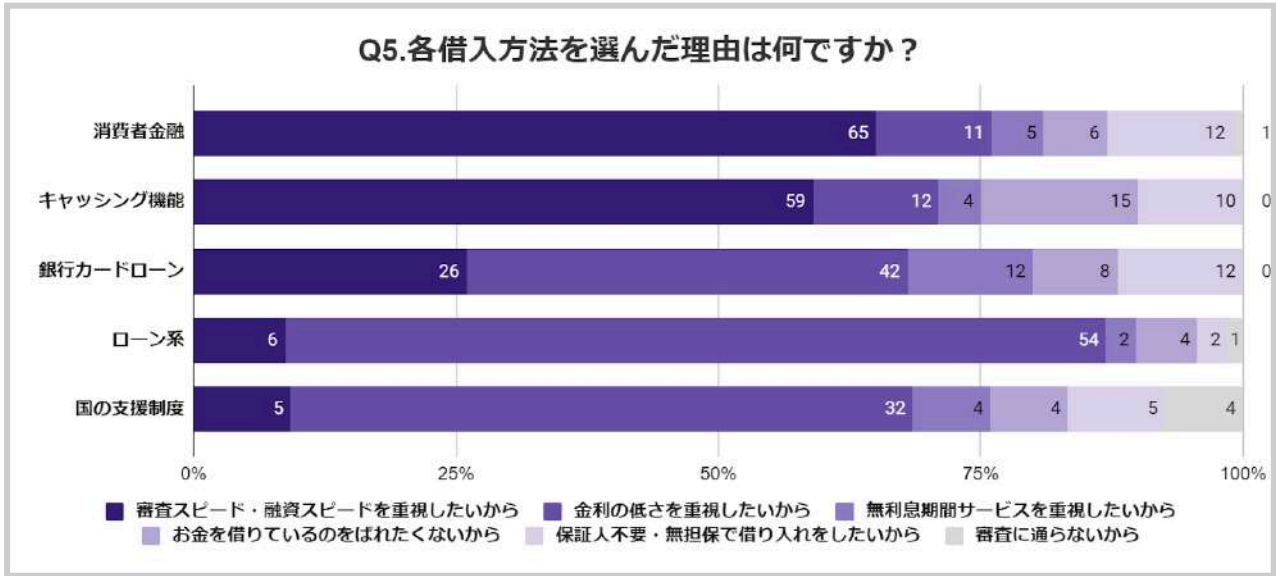
借入方法別に見ると、消費者金融やキャッシング機能では借入スピード、銀行カードローンやローン系は金利/利息の低さを重視している方が多いことがわかります。

各金融機関の特長と、借り入れする方の希望がよくわかる結果となりました。

どの項目を重視するか考え、自分に合った借入方法を選択しましょう。

Q5.各借入方法を選んだ理由は何ですか？

各金融機関でお金を借り入れている方に、その借入方法を選んだ理由について回答していただきました。

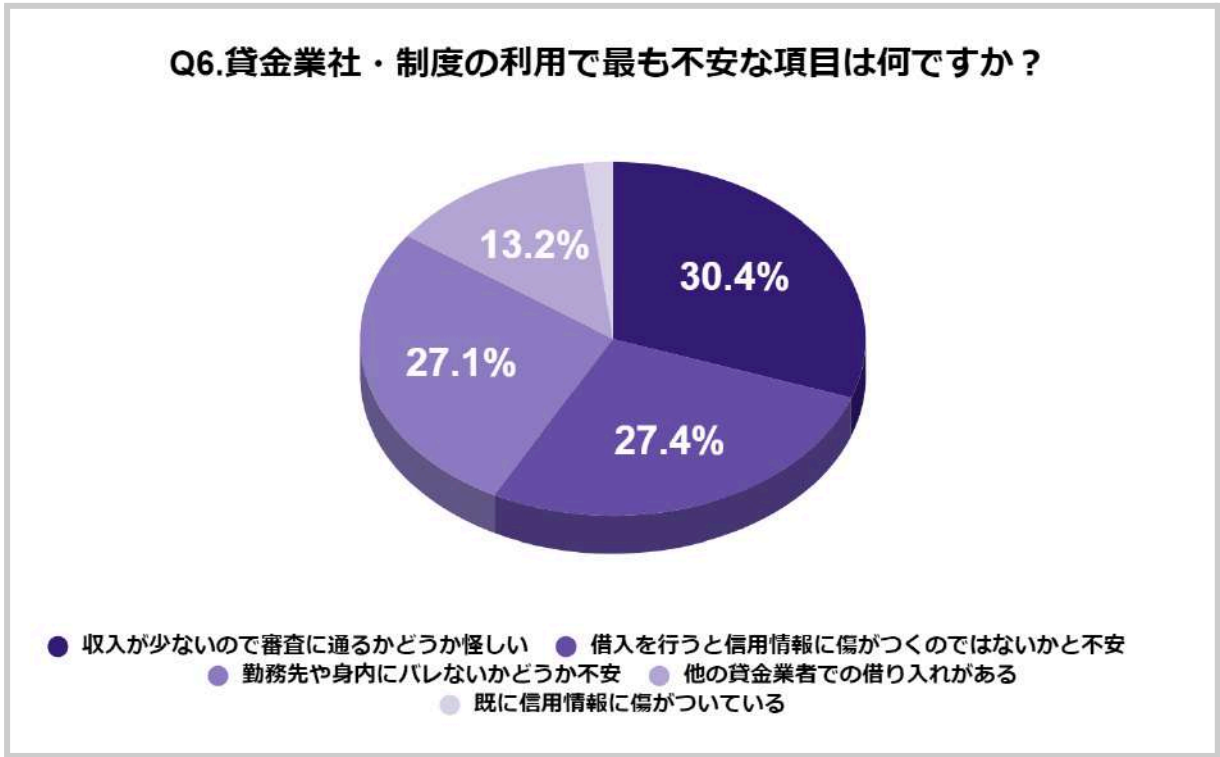


Q5.各借入方法を選んだ理由は何ですか？（423回答）					
	消費者金融	キャッシング機能	銀行カードローン	ローン系	国の支援制度
審査/融資スピードを重視したいから	65人	59人	26人	6人	5人
金利の低さを重視したいから	11人	12人	42人	54人	32人
無利息期間サービスを重視したいから	5人	4人	12人	2人	4人
お金を借りていることをばれたくないから	6人	15人	8人	4人	4人
保証人不要/無担保だから	12人	10人	12人	2人	5人
審査に通らないから	1人	0人	0人	1人	4人

Q4の質問項目「お金を借り入れる際に重視したことはなんですか？」と同じような結果がでました。

消費者金融やキャッシング機能を選択した理由は審査/融資スピードの速さで、銀行カードローンやローン系は金利の低さから選択した方が多い結果となりました。

Q6.貸金業社・制度を利用するにあたって、最も不安に感じる項目は何ですか？



Q6.貸金業社・制度の利用で最も不安な項目は何ですか？（423回答）	
収入が少ないので審査に通るかどうかが怪しい	129人（30.4%）
借入を行うと信用情報に傷がつくのではないかと不安	116人（27.4%）
勤務先や身内にバレないかどうか不安	115人（27.1%）
他の貸金業者での借り入れがある	56人（13.2%）
既に信用情報に傷がついている	7人（1.6%）

借り入れをする際、収入の少なさから審査に通るか不安な方が最も多いという結果になりました。

信用情報への影響や周囲に借り入れがバレないかどうか、その後に続きます。

利用する借入先によっては、審査に通しやすいものや在籍確認を書類提出のみで完結できる場合があります。

不安に感じる事があれば、その対策を行っている借入先を選ぶことがおすすめです。